



クリスマス会終わる！

先月21日(土)、学童期の居場所「ぼこ・あ・ぼこ」にて毎年恒例のクリスマス会がありました。550円ぐらいのプレゼントを各自持って来て、楽しく過ごしました。

また、午前中からは部屋でクリスマスツリーなど飾りつけなど、みんなで準備をしました。昼食は豪華で飲んだり食べたり、おしゃべりしたり、みんなでワイワイガヤガヤ楽しく過ごしました。

ぼこ・あ・ぼこの始まりは1/7(火)から、ぼれぼれの始まりは1/9(木)からです。それでは、みなさんにとって、この1年素晴らしい年でありますように！！

ふきのとうの情報は、ホームページにも掲載しています。こちらでも情報をチェックしてくださいね

Facebookは随時、更新中です！「いいね！」を押してね！「シェア」もお願いします。

Facebookをやっていない人は、ふきのとうのホームページのブログにも書いています。

たまにはブログものぞいて見てね！



子どもたちのボランティアでの発送作業募集中！！

4月より、JTたばこ助成金事業が終了したため、当事者の皆さんには発送作業の賃金が払えなくなりましたので、発送作業のアルバイトは残念ながらありません。

こちら、助成金等の申請をしていきますが、いつになるかわかりません。ご理解の程、よろしくお願ひ致します。

尚、居場所だよりは、毎月発行していきます。その発送作業は、大人のボランティアスタッフがしていきます。また、発送が少し遅くなる可能性もありますので、その時は、ご了承ください。

子どもたちの中でボランティアで発送作業をしたい人は、どうぞ、事務局まで申し出て下さい。スタッフとしては大変助かります。

ひきこもり者の中間就労支援「星の風」について

上記に掲載している通り、JTたばこ助成金事業が終了したため、みんなのマルシェ星の風でのアルバイトは、去年は時給750円でしたが、4月より給料は、星の風の売り上げがかなり上がった時のみ支給いたします。ご理解の程、よろしくお願ひ致します。

星の風には遊びに来て構いません。

尚、営業時間と営業日の変更があります。毎週金・土曜日の11:00～17:00までとなります。また、冬と夏は変動があります。



あなたの絵をポストカードにしてみませんか？

フリースペースふきのとうでは、ポストカードにする絵を募集しています。

今まで描き溜めた絵やこれから描く絵、写真もOKです。

出来たポストカードは星の風で販売することも出来ます。売り上げの80%は作者にお返しします

詳しくは、フリースペースふきのとうまでご連絡ください。

尚、ハガキの台紙はふきのとうで準備しています。

他にも手作り雑貨やアクセサリなど販売したい方も商品と共に募集しています。

是非、フリースペースふきのとうまでご連絡ください。お待ちしております。



月	火	水	木	金	土	日
		1 元旦 年末年始 お休み	2 年末年始 お休み	3 年末年始 お休み	4 年末年始 お休み	5 年末年始 お休み
6 年末年始 お休み	7 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	8	9	10	11 英会話 15:30~17:00	12
13 成人の日	14 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	15	16	17	18 英会話 15:30~17:00	19
20	21 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	22	23	24	25 英会話 15:30~17:00	26
27	28	29	30	31		

- ◆開所日は、火・土曜日13:00~17:00までですが、祝日、年末年始、お盆はお休みです。また、自然災害(台風、雪、地震など)で学校が休校の場合も居場所はお休みします。
- ◆学習サポート「数学」 担当:永富光朗先生 数学パズルなどを利用して、遊びながら学べます。
- ◆英会話 担当:池田和博先生(ぽこ・あ・ぽこの家主さん)
持ってくるもの:NHKテキストブック「英語I」(書店で買って持って来てね!)、筆記用具
学習内容:NHKテキストブック「英語I」を教材にして学習します。また、簡単な英会話やみんながなじみのある英語の歌などを楽しく学びます。時々、外国の方が来
- ◆毎週土曜日は英会話が終わった後、ギター教室もしています。担当:池田和博先生
※英会話とギター教室は毎週土曜日になっていますが、講師の池田さんの都合でお休みする場合があります。
- ◆1/4(土)は、年末年始の為、お休みします。



ぽれぽれ(青年期)

月・火・金・土(祝日、年末年始、お盆お休み) 10:00~16:00
木 8:00~14:00

月	火	水	木	金	土	日
		1 元旦 年末年始 お休み	2 年末年始 お休み	3 年末年始 お休み	4 年末年始 お休み	5 年末年始 お休み
6 年末年始 お休み	7 年末年始 お休み	8 年末年始 お休み	9	10	11	12
13 成人の日	14	15	16	17	18 星の風出店 (有田炎の博 記念館)	19 星の風出店 (有田炎の博 記念館)
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- ◆学習サポート「英語」 担当:田向弘文先生
- ◆学習サポート「発達障がい」・小学生 担当:只今、担当される先生を探しております。決まり次第、再開します。
- ◆開所日は、月・火・金・土曜日の10時~16時と木曜日の8時~14時までですが、急な用事や出張などで出かけることがあります。ご用の時は事前にご連絡ください。
また、自然災害(台風、雪、地震など)で学校が休校の場合も居場所はお休みします。
上記の他に、フリースペースふきのとう主催の行事の翌日の場合も居場所兼事務所はお休みします。
- ◆1/1(水)~1/8(水)まで、「ぽれぽれ」&事務所は年末年始の為、お休みします。





十二支の話 ～十二支の始まり～



むかし、むかしと言うてもはるか昔、ある年の暮れのことだった。神様が動物たちに、「元旦の新年の挨拶に来るのが良い。そしたらその中の、1番から12番までをその動物の年にしてやるぞ。」というお触れを出した。動物たちは、来年は俺の年にしてやるぞ。と元旦に来るのを、今か今かと待っていた。ところが猫は神様の所へ行く日を忘れてしまった。正月と言うても3が日はある。それに小正月もあるしな。猫は考えていたが、仲の良いねずみの所へ聞きに行った。ねずみはけろんとした顔で言うた。「そら、二日の朝に決まっとる。元旦には人様の家に訪ねるなと昔からいうでねえか」「そうか、そうか二日の朝だな」猫はねずみに礼を言って帰って行った。

こうしているうちに大晦日になった。ネズミが暗がりで見ると牛がぶつぶつ言いながら旅支度をしていった。「おら、のろまだべ。今夜のうちに出かけろのだ」ねずみはしめたとばかり牛の背中に飛び乗った。そうとは知らぬ牛は暗い夜道を霜を踏みしめ踏みしめ神様の御殿へ登って行った。門の前に着くと誰も居ない。ほーう、これでわしが一番に決まったようなもんだ。牛はよだれを垂らしながら元旦の朝の来るのを、今か今かと待っていた。やがて里の方で、一番鶏が時を告げると門は静かに開いた。牛はにんまりして門をくぐろうとすると、背中にいたねずみがぴょんと飛び降りて、ちよろちよろと門をくぐって「神様、あけましておめでとございます。ねずみが新年のご挨拶に来ました」そこで、牛は2番になり、千里の道をひゅーっと駆けてきた虎が3番になった。続いて、うさぎ、龍、へび、馬、羊、猿、犬、鶏、猪が入ったところで、門は閉められた。これが、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥と言う十二支になったんだと。

ところで、猫はねずみに教わったとおり2日の朝早く神様の門を叩くと、「お前は今まで、ぐうすか寝ておったんか。寝ぼけてらんで、顔でも洗って来い。呼んだのは昨日だぞ」そう言われて、猫はすぐと帰って行った。それからというもの猫は、毎日顔を洗うようになって、嘘の目を教えてくれたねずみが憎らしくて、ねずみの姿を見つけると追いかけて回すようになったんだと。

こうして猫は十二支の仲間に入れなかったが、やはり十二支の仲間に入れなかったイタチは、神様の所へ毎日行って「神様、おらんところはそのお触れが来ませんでした。それでは不公平です。もう一回やり直してください」これには神様も困ってしまった。「イタチどん、一つ相談だが、1年に1年にたった12日だけ、お前さんの日にしてやるがどうじゃ。月の最初の日をお前さんの日にしてやろう」「神様、1年にたったの12日じゃつまらんが、でも我慢します。それをイタチの日にしてくださいお」そう言われて神様は困ってしまった。そうしてやりたいが、またそれが騒動の元になる。「どうだ、イタチの上に“つ”を付けて、つ・いたちでどうだ。それがお前さんの日だ。だがこれは内緒だぞ」イタチは「つ・いたち、つ・いたち」と何回か繰り返していたが「神様、“つ”が気になります、でも無いよりはいいから我慢します」それが月の初めの1日になり、この日がイタチの日なんだと。

この十二支の話が職人たちの間に広まって、時間や日を間違えて来た仲間に入れなかった人のことを「あの人は猫年だわ」と言うようになったんだと。おしまい。

《番外編》

中国、タイ、ベトナム、モンゴル、ブルガリア、インド、フィンランド、イラン、アラビア、トルコの干支は猪の代わりは豚です。

ベトナムの干支は牛の代わりは水牛。羊の代わりは山羊です。

虎の代わりの干支は、モンゴルとトルコは豹、ブルガリアは猫です。

兎の代わりの干支は、タイとベトナムは猫、フィンランドは蟹です。

インドの干支は鶏の代わりはガルーダです。

